

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2020/12/31	2021/8/31	2021/9/10	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	27,444.17	28,089.54	30,381.84	30,714.52	2021/2/16	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	30,606.48	35,360.73	34,607.72	35,631.19	2021/8/16	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	103.25	110.02	109.94	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 経済対策への期待や国内の新型コロナウイルス新規感染者数の減少を背景に上昇 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+1,253.73円(+4.30%)、TOPIXが+76.20ポイント(+3.78%)となり、経済対策への期待や国内の新型コロナウイルス新規感染者数の減少を背景に上昇しました。業種別(東証33業種)でみると、海運業、情報・通信業、証券・商品先物取引業、不動産業などの32業種が上昇した一方、医薬品の1業種が下落しました。週初6日は、先々週末からの流れを引き続き、政権交代後の経済対策への期待や国内の新型コロナウイルス新規感染者数の減少傾向などを背景に大きく上昇して始まりました。その後も週中にかけて堅調な推移が続き、日経平均はおよそ5か月ぶりに3万円台を回復する展開となりました。9日は、それまでの急ピッチな上昇に対する利益確定売りの動きや、中国政府によるオンラインゲームやライブプラットフォーム企業への締め付けを嫌気した香港ハンセン指数の急落に対する警戒感などからやや弱みましたが、週末10日は、香港株市場の急反発を受けた買い安心感などが支えとなり、再び上昇して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
9月14日	Tue	米国	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	8月	+4.3%
9月15日	Wed	日本	機械受注(船舶・電力を除く民需)(前月比)	7月	▲1.5%
			第3次産業活動指数(前月比)	7月	+2.3%
		中国	鉱工業生産(年初来/前年比)	8月	+14.4%
		欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	7月	▲0.3%
9月16日	Thu	米国	ニューヨーク連銀製造業景気指数	9月	18.3
			鉱工業生産(前月比)	8月	+0.9%
		日本	貿易収支	8月	4,394億円
9月17日	Fri	米国	小売売上高(除自動車)(前月比)	8月	▲0.4%
			フィラデルフィア連銀製造業景況指数	9月	19.4
		日本	自民党総裁選告示		
		米国	ミシガン大学消費者信頼感指数	9月	70.3

決算発表予定 他	国内	決算発表 :	9/13 神戸物産
	海外	決算発表 :	9/13 オラクル

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 自民党総裁選を控え経済対策への期待は高いものの、今週発表予定の経済指標からデルタ株の感染拡大による景気鈍化懸念も意識されやすく、高値圏で揉み合う展開 ~

今週の日本株市場は、自民党総裁選を控え経済対策への期待は高いものの、今週発表予定の経済指標からデルタ株の感染拡大による景気鈍化懸念も意識されやすく、高値圏で揉み合う展開を予想します。今週末の自民党総裁選告示(29日投開票)を控え、候補者らが掲げる経済対策に対する期待は高く、株価上昇材料に働くとみえています。また、新型コロナウイルスを巡っては、19都道府県に対する緊急事態宣言は9月末まで延長されたものの国内における新規感染者数は減少傾向にあり、経済活動正常化への期待が維持されていることも欧米株に対する日本株の出遅れ解消期待に繋がります。一方、15日に米欧中の鉱工業生産や米ニューヨーク連銀製造業景気指数、16日に米小売売上高などの経済指標の発表が予定されており、世界的なデルタ株の感染拡大などを受けた米中景気の鈍化懸念が意識される中で、これらの内容を見極めたいとする様子見姿勢が強まると考えています。日本株は先週末までに急ピッチで上昇したこともあり、過熱感からの利益確定売りも出やすいと考えており一段の上値追いは限定的で、高値圏で揉み合う展開と見込んでいます。その他の注目材料として、日本では15日の機械受注、16日の貿易収支、米国では14日のCPI、17日のミシガン大学消費者信頼感指数などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。